

「森と暮らすどんぐり倶楽部」 訪問記

久保 きよ子



(どんぐり倶楽部に参加する人たち)

9月2日若狭ネット主催の「美浜3号事故3年を迎えて講演討論集会」で美浜町の松下さんに「原発に頼らない町おこし」と題してお話をさせていただきます。

当日に上映予定の「どんぐり倶楽部」のビデオ撮影のためどんぐり倶楽部を訪問しました。ビデオ撮影にチェルノブイリビバクシャ救援関西の若手2名にご協力をお願いしました。

どんぐり工房では、地域の親子クラブの人たち約30名が参加されていました。

松下さん、石地さんの指導のもと、「こけ玉」「山野草の小鉢づくり」をしたり「コガシマタ」という工具を使って、すすきや笹、柳の小枝で、コースターやピン敷きなどを編んでいました。私もこけ玉づくりを教えていただきました。

今年3月完成した風力発電がさわやかな風を受けて、心地よく回っていました。他にソーラーパネルで温めたシャ



(「コガシマタ」を使って

コースターや敷物をつくる参加者)



(手づくりピザ窯)

ワー室や、手づくりピザ窯、木工芸用の制作室など、たくさんの工房がありました。

昼食は、「森の中の喫茶店」で、コック長の松下夫人がつく

る山菜スパゲティーや山菜うどんは、おいしかったです。

この工房から さらに4~5キロメートル奥に入った場所に紅ドウダンツツジ公園があり案内していただきました。道中は、まるで青森県の奥入瀬渓流をめくっている錯覚にとらわれました。この公園には、「野生鹿」対策用の防護柵が張り巡らされ、下草もきれいに刈り取られ、人のエネルギーが注ぎ込まれているのが、よくわかりました。まるで、子育てをしているのと同じ力強さを感じられました。花の咲く頃には是非行きたいところです。



(つるで編んだ山野草の小鉢)



(鹿に食べられたツツジの幹)

このあと、美浜原発と「もんじゅ」の見学に行きました。

この日は、8月の第1日曜日。水晶が浜の海水浴客で、佐田交差点から菅浜までの道は自家用車で大渋滞でした。海も人々でいっぱいでした。

こんなとき原発で事故が、また大きな地震が発生したら、大パニックが起こり、逃げるのをあきらめるしかないのかと思うと、太陽の暑

さの中でも背筋が寒くなってしまいました。

「もんじゅ」の手前には、立派なPR館があり、広い駐車場に1台も車が止まっていない。PR館の中にももちろん職員以外の人、私たちだけでした。広い館内は、冷房が効いていて、超涼しい！

1日の電気代は、何万円やる？ふだんは、団体のグループが来れば、100名程度は来られますという説明を聞いても、これは、ほんとにあまりにも無駄が多すぎると、思いながら後にしました。帰りも渋滞に巻きこまれました。

できあがったビデオは、9月2日に上映します。お楽しみに！



(鹿よけの防護柵)